

平成24年9月2日
今週のベストショット



平成24年9月2日 奈多グラウンド 奈多フェニックス 対 奈多クラブ戦

0-0で迎えた四回表、2点タイムリー二塁打を放ってガッツポーズ！首位奈多フェニックス2番今林文彦選手。

(写真：三苦三球会 中村元)

雁レク8

三苦ホーネッツ (9勝2敗1分) 10102 4 井出●、矢野一松尾

新町パイレーツ (9勝2敗0分) 0131X 5 吉田○-桐島

3BH：牟田（新町パ） 2BH：白岩、山野井（新町パ）

初回三苦ホーネッツは、ヒットで出塁の稲葉選手が相手エラーの間にホームインし先制。新町パイレーツは二回裏8番川田選手のタイムリーで追いつく。三回表ホーネッツは2番山崎選手が内野安打、盗塁とワイルドピッチにより1点追加。負けじとパイレーツはその裏一死後、3番白岩選手がレフト前に落ちる幸運な二塁打、4番桐島、5番山野井選手の連打で同点に追いつくと、続く大濱選手のショートゴロで桐島選手が本塁へ突入、一塁からの送球が悪送球となって後続のランナーも帰り、逆に2点のリードを奪う。四回裏にも1点追加され3点差となって後がないホーネッツは五回表、ヒットと四死球で無死満塁の同点あわよくば逆転の絶好のチャンス。ここで5番松尾選手のセンター前ヒットで1点返すも、後続のランナーが三本間で挟殺、さらに1塁ランナーも飛び出しゲッツー。その後塚選手のヒットで1点差まで迫るも追撃もここまで。監督自ら身振り手振りで指示を出し、それに応えたパイレーツナイン執念の勝利であった。（記事、写真 ソルトベイスターズ 田中裕次郎）



優勝の可能性の残る両チーム、お互い負けられません。



勝たな承知せんぞと檄を飛ばすパイレーツ応援団。



粘投するパイレーツ先発の吉田投手。



一回表、果敢に盗塁を決めるホーネッツ矢野選手。



初回矢野選手の本塁突入を阻止するパイレーツ桐島捕手。



攻守でパイレーツを牽引する桐島選手のセンター前ヒット。



三回裏逆転のホームインするパイレーツ桐島選手。



俊足を飛ばして盗塁を決めるホーネッツ山崎選手。



五回無死満塁から1点返すも、このあと痛すぎる挟殺ゲッツーのホーネッツ。



多彩な作戦でチームを勝利に導いたパイレーツ田中監督。

奈多グラウンド

奈多フェニックス (10勝1敗0分) 00050 5 池見○-実延(新)

奈多クラブ (2勝9敗0分) 00000 0 吉田●-赤沢

2BH: 今林(文)(奈多フ) 砂場(奈多ク)

過ごしやすい陽気の中、今シーズン優勝を狙う奈多フェニックスと奈多クラブとの試合はフェニックスの先攻で開始された。試合は、序盤互いにランナーは出すものの決定打の出ない展開となった。二回表、フェニックスは奈多クラブ吉田投手の制球の乱れをつき、1アウトから3連続四球で満塁とするが、あと一本が出ずに三者残塁。一方、奈多クラブも初回から三回まで毎回ヒットでランナーを出すもののフェニックス池見投手の前にあと一本が出ない。試合が動いたのは四回表。ここまで吉田投手の前にノーヒットに抑えられていたフェニックス打線が爆発。2番今林(文)選手、3番今林(勇)選手の連続タイムリーなどでこの回に三本の長短打を重ね5点を挙げた。5点を追う奈多クラブは四回、五回と代打攻勢に出るが、フェニックスが凌ぎきり試合終了。試合は5対0で、奈多フェニックスの勝利となった。(記事: 三苦三球会 小倉圭太、写真: 中村元)



二回裏、奈多クラブ先頭の砂場選手の二塁打で
出塁するも後続を断たれる。



三回裏、この回も先頭の奈多クラブ今林(健)選手が
ヒットで出塁も先制ならず。



四回表、フェニックス今林(文)選手のタイムリー二塁打。



四回表、フェニックス今林(文)選手壘上で思わずガッツポーズ!



四回表、続くフェニックス3番今林(勇)選手にもタイムリー!



見事シャットアウトで勝利投手となったフェニックス池見投手。

青松園 A

塩浜ジャガーズ (4勝6敗0分) 00200 2

内田●-堀内

雁ノ巣ライナーズ (6勝2敗2分) 4012X 7

鳥越○-樽野

3BH: 宇野 (雁ノ巣) 2BH: 国崎 (雁ノ巣)

一回裏雁ノ巣ライナーズは、先頭の岩崎選手がレフト前ヒットで出塁すると、2番池内(史)選手の送りバントは送球エラーを誘い、無死一三塁のチャンスを作る。ワイルドピッチと相手エラー、5番宇野選手のレフトフェンスオーバーの2ランも飛び出し4点を先制。二回裏にも国崎選手の右中間タイムリー二塁打、四回裏には2四球とエラーでチャンスを貰うと、樽野選手のレフト前2点タイムリーで突き離れた。一方ジャガーズは三回表、1番岩崎選手が死球で出塁すると、2番稲富選手がバント安打で続き、ワイルドピッチと3番小森選手の犠飛で2点を返したが、再三得点圏にランナーを送るもののあと1本が出ず、要所でライナーズ鳥越投手に抑えられた。(記事、写真:ブルーマーリンス 友重正司)



先頭打者を三振! 上々の立ち上がりライナーズ鳥越選手。



一回裏ライナーズ池内選手の絶妙のバントが送球ミスを誘う。



柵越え本塁打で悠々とホームインするライナーズ宇野選手。



二回表、二死満塁でジャガーズ道喜選手は二直に終わる。



三回表、ジャガーズはWPで岩崎選手がホームイン。



三回裏、タイムリー二塁打を放つライナーズ国崎選手。



四回裏、ライナーズはWPで鳥越投手がホームをつくもタッチアウト！

雁レク7

三苦フレンズ（1勝8敗2分） 4 0 0 0 2 6 ●井上-佐藤
 新町ウインズ（4勝6敗1分） 4 2 2 2 X 10 ○早田、城戸-今林

HR：今林、野中、野田（新町ウ） 3BH：野中（新町ウ） 2BH：桐島司、安藤（新町ウ） 生野（三苦フ）

フレンズは初回、ウインズ先発早田投手の立ち上がりの乱調を攻め、無死満塁のビッグチャンスを活かし、幸先良く4点を先制した。その裏ウインズは1点を返すと、5番野中選手、今林選手の右中間への2ランホームランで2点を勝ち越すと、四回には4番野田選手が左中間ダメ押し弾となるソロホームランで勝負あり。フレンズは三回には二死満塁、五回には2点を返す粘りを見せたが、もう一歩及ばなかった。ウインズは監督を含め11名の少数精鋭でゲームに臨み、3・4・5番のクリーンアップ全員がホームランを放ち快勝した。

（記事・写真：レッドサンデーズ 鳥羽晃弘）



一回裏、同点3ランを放つウインズ5番野中選手。



満面の笑みで拳を突き上げるウインズ5番野中選手。



少数ですがチーム全員でお出迎えのウインズサイン。



力投するフレンズ先発の井上投手。



勝ち越し2ランホームランのウインズ3番今林孝智選手。



ダブルピースで喜びをアピール、ウインズ3番今林孝智選手。

第20週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

9月に入り、4試合が行われました。

雁レク8の三苦ホーネッツ対新町パイレーツ戦は、初回ホーネッツは1番矢野選手がホームに突っ込もうかとなりましたが、サードコーチの体を張った(?)ブロックに合いアウト。それでも1点先制するも、三回裏に逆転に成功したパイレーツが点差を広げ3点差で五回に。ホーネッツはパイレーツ吉田投手を攻めて無死満塁とし、一気に逆転ムードが漂いますが、功を焦ったか浅い当たりで二塁ランナーまで突っ込んでしまい、結果Wプレー。それでも主将の堺巖生選手のタイムリーで1点差まで迫るのがやっとでした。お互い優勝へのわずかな望みを懸けた一戦は4-5でパイレーツに軍配。実力均衡の試合での走塁ミスは命取りですね。

奈多グラウンドの奈多フェニックス対奈多クラブ戦は、フェニックス池見、奈多クラブ吉田投手の息詰まる投手戦。四回表にフェニックスが吉田投手と奈多クラブ守備陣のミスに突け込み一挙5点を挙げ、投げては池見投手が5-0の完封勝利。お互い4安打同士の投手戦だったが、今シーズンの勢いの差が結果となった。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対雁ノ巣ライナーズ戦は、普段キャッチャーのライナーズ鳥越投手の先発。初回を無難に3人で片づけると、その裏早速味方打線が強力援護。ジャガーズのミスで2点を先制すると、5番宇野選手のHRで4点。途中2点差に迫られるも小刻みに加点し2-7でライナーズの勝利。鳥越投手も完投。ライナーズは次戦雨の影響でグラウンド状態が悪く流れた(流した?)奈多サンデーズ戦。そこで真価が問われる。

雁レク7の三苦フレンズ対新町ウインズ戦は、初回4点を先制されるも、ウインズ5番野中選手のHRなどですぐに追いついたウインズが、攻撃の手を緩めることなく3HR、毎回得点の10-6で勝利。ウインズは、早田投手が立ち上がりを何とか乗り切れれば、あとは癖球で打たせて取るピッチングを披露。そして城戸投手につながりというパターンが確立されつつありますね。あとは打線がいかに点を取るかです。

さあ、ロンドンではパラリンピックが開催され、障害を持った方々も夢と期待を背負って顔晴っています。我々和白ソフトボールリーガーも負けじと、あと一か月勝利に向かって邁進しましょう！！